

社会科（歴史的分野）調査資料 1-1

書名		新編 新しい社会 歴史		2 東 書	
項目					
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の大きな流れを理解させるために「時代を概観しイメージする導入部」→「通史の学習をする展開部」→「時代の特色をまとめる終結部」という流れになっている。 ○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために、多くの文化遺産が取り上げられるとともに、近代史以降の人物を扱うコラムには郷土の偉人の出身県が記述されている。 ○多文化共生の重要性を学び国際協調の精神を育てるため、イスラム文化やアイヌ文化を扱う「深めよう」やジャポニズムを紹介する「歴史にアクセス」が設けられている。 ○多面的・多角的に考察する力を育てるために、地理・歴史・公民3分野の学習内容の関連が図られ、共通の資料を各分野の視点で考察する活動が設けられている。 				
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、確認で構成されている。効果的に学習内容の理解を図るため、学習した内容を振り返る「ワーク」が設けられている。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「歴史スキル・アップ」、学習した知識・概念を確認する「この時代の歴史の学習を確認しよう」が設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き右下部の欄外に「確認」という課題が設定されている。毎時間の授業内容を自分の言葉で要約したり、説明したりすることで、思考力・表現力等の育成が図れるようになっている。 ○各時代のまとめにおいて、様々なまとめ方（ウェビング図・比較表・ディスカッション・新聞等）を学ぶ学習が設けられている。この課題に取り組むことで思考力・判断力・表現力を育成し、適切なまとめができるように工夫されている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○時代ごとに事例を示した「私たち歴史探検隊」では、調べ学習での言語活動の事例を紹介し、ポイントを「調査の達人」の形で示している。 ○節の終末で「深めよう」のコーナーがあり、学習した歴史が現代にどのように関わっているかなど興味・関心を高める工夫がされている。 				
色	<p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国宝、重要文化財、世界遺産にマークが付けられている。 ○古事記、日本書紀にある神話は各地の神楽と関連付け、見開き資料で紹介している。 ○領土をめぐる問題については竹島・北方領土・尖閣諸島をコラムで扱い、資料を掲載し、その歴史的背景とかかわらせ見開き資料で紹介している。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入として、時代の流れを大観させるとともに、小学校で学習した資料を通してこれから学習する時代がどのような時代かイメージさせるようになっている。 ○各時代のまとめとして、「この時代の特色をとらえよう」で、人物と事柄をつなげたり、図で示したりするなどして、時代の特色を様々な方法でまとめる学習が設けられている。 ○各時代のまとめとして、「この時代の歴史を確認しよう」で、年表をもとに各時代のおもなできごとを整理する学習が設けられている。なお、この年表は次の時代の年表と見開き構成になっている。 				
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習の動機付けや追求の中心となる、導入資料や中心資料が写真などで大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織の仕組み等が掲載されている。資料には出典・所蔵のほか、資料の大きさが記されているものもある。 				
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各項目の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されており、項目ごとに見通しをもつための課題・学習内容をさらに深めるための課題の2つが示されている。 ○項目ごとに、どの時代を学習しているかをページの下段の年表に色で表し、地理や公民と関連が深い内容には関連マークがついている。 ○本文は敬体で、用語解説のページや参照ページが示され、資料には、見開きごとのまとめりで通し番号が付けられている。 				
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判を採用している。 ○「私たち歴史探検隊」では「身近な地域の歴史」を調べることを通して社会の形成者としての資質を養ったり、現代の事例を通して身近な地域の将来について提案する活動を設け、社会参画への意識を高めたりするよう配慮している。 				

社会科（歴史的分野）調査資料 1 - 2

書名		17 教 出	
項目	中学社会 歴史 未来をひらく		
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の大きな流れを理解させるために章末に「学習のまとめと表現」に時代の移り変わりを大観する構造図を掲載し、その時代の特色について考察・表現する活動を設けている。 ○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために、巻頭部に社会を築き動かしてきた先人たちが取り上げられるとともに、「歴史のなかの言葉」が掲載されている。 ○多文化共生の重要性を学び国際協調の精神を育てるために、実際に触れる点字を活用した「点字の歴史」や、国際平和への取組を紹介する「歴史を探ろう」が設けられている。 ○一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てるために、歴史的事象についての説明や話し合いなどの表現活動に取り組む課題が設けられている。 		
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1単位時間とし、導入資料、「学習課題」、本文、「ふりかえる」で構成されている。時代背景を把握させるため各節の単元は「世界→日本」の順で配列されている。 ○基礎的・基本的な技能の習得を図るために本文の学習の流れに即した「読み解こう」や「学習のまとめと表現」が設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き右下欄外に「ふりかえる」という課題が設定されている。「～を説明しよう」という課題に毎時間取り組むことで、思考力等の育成ができるようになっている。 ○教科書欄外には「読み解こう」という課題が設定されている。ここでは、絵・地図・グラフ等を読み取る学習を行い、思考力等の育成ができるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本文の学習を広げたり深めたりする「学習課題」や、関連する内容を紹介する「歴史の窓」、特設ページ「○○の（から）歴史を探ろう」が設けられている。 ○単元の終わりでは、「時代の変化に注目しよう」があり、生徒がその時代の特色を具体的に考えやすくなっている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国宝、重要文化財、世界遺産にマークが付けられている。 ○古事記や日本書紀に記された神話を当時の生活に関連付けて、古代の人々の信仰やものの見方が見開き資料で紹介されている。 ○領土をめぐる問題については、地図資料を中心に紹介されている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入として、その時代と関連のある資料を取り上げ、登場人物の疑問から、これから学習する時代のイメージをつかませる「とびら」が設けられている。 ○各時代の特色やその背景を追究し、歴史を掘り下げていくさまざまなテーマ学習を紹介している「特設」ページが設けられている。 ○各時代のまとめとして、「学習のまとめと表現」で、年表や地図で時代の移り変わりを大観し、その時代のできごとや動きを自分の言葉で説明する学習が設けられている。 		
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習の動機付けや探求の中心となる、導入資料・中心資料が写真などで大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織の仕組み等が掲載されている。「読み解こう」の表記があり、資料を読み解くヒントや視点が示されている。 		
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各項目の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されており、項目ごとに見通しをもつための課題・学習内容をさらに深めるための課題の2つが示されている。 ○項目ごとに、どの時代を学習しているかを「時代スケール」として示し、小学校で学習した人物と新たに学習する人物をマークで区別している。 ○本文は敬体で、用語解説のページや参照ページが示され、資料には、見開きごとのまとめりで通し番号が付けられている。 		
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判を採用している。 ○「未来をひらくために」では、これからの社会を築いていくために、自分たちが社会とどのようにかかわればよいかを考察させ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮している。 		

社会科（歴史的分野）調査資料 1 - 3

項目		書名	35 清水
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○歴史の大きな流れを理解させるために、序章に時代ごとの特色を把握し、まとめるための具体的方法（Yチャート）が提示されている。</p> <p>○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために東アジアをはじめとする世界の諸地域と関連しながら特色ある伝統と文化が形成・発展してきたことが記述されている。</p> <p>○多文化共生の重要性を学び国際協調の精神を育てるために、日本を含む世界の歴史上の人々が自己の郷土や国家の発展に尽力してきたことが記述されている。</p> <p>○一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てるために、史料の読み方や扱い方などの学び方が紹介されており、各時代冒頭を含めて随所に問いかけが設けられている。</p>	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○見開き1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「まとめてみよう」で構成されている。各時代章扉の問いかけに呼応した学習のまとめを行う構成である。</p> <p>○基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「歴史のとびら」、学習した知識・概念を確認する「まとめてみよう」が設けられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○単元中に「もっと知りたい歴史」（歴史に関するエピソード）が7つ設定されている。これにより、各時代の特色を様々な視点から考察できるようになっている。</p> <p>○見開き右下欄外には「まとめてみよう」という課題が設定されている。学習内容を文章にまとめたり、表に整理したりすることで思考力等の育成が図れるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○章末の「まとめてみよう」で、学んだできごとを整理し把握する年表と、学習した内容を自分の言葉で表現することを促す学習活動が各時代に設けられている。</p> <p>○「歴史のとびら」では、多くの資料や体験談などにより、その時代について深く学べる工夫がされている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <p>○国宝、世界遺産にマークが付けられている。</p> <p>○古事記、日本書紀に加え風土記の内容も網羅しながら、出雲国を紹介しながら神話について見開き資料で紹介している。</p> <p>○領土をめぐる問題については、北方領土を扱った本文で紹介されている。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <p>○序章で、資料を用いて大きな時代の流れと各時代の特色をつかませる、各時代の「キャッチコピーづくりをはじめよう」という学習が設けられている。</p> <p>○各時代の導入として、その時代の特徴的な資料を示し、資料に関連してその時代の特色をつかむための課題が示されている。</p> <p>○各時代のまとめとして、「まとめてみよう」で、年表や資料でおもなできごとを整理するとともに、各時代の政治や文化について基本的な語句を使って説明する学習が設けられている。</p>	
	資 料	<p>○見開きの上部に学習の動機付けや探求の中心となる、導入資料・中心資料が写真や地図などで掲載されている。</p> <p>○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織の仕組み等が掲載されている。資料を読み解くヒントや視点が示されている。</p>	
表記・表現		<p>○各項目の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されており、項目ごとに「学習のめあて」学習課題を文章でまとめる「まとめてみよう」が示されている。</p> <p>○本文は常体で、参照ページが示され、資料には、見開きごとのまとめりで通し番号が付けられている。</p>	
総 括		<p>○教科書の紙面は、B判を採用している。</p> <p>○見開き資料やコラムでは、民主主義や基本的人権、男女の平等などが先人たちの努力によって歴史的に獲得されたものであることが記述され、社会に主体的に参画することの必要性が理解できるように配慮されている。</p>	

社会科（歴史的分野）調査資料 1 - 4

書名		社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	46 帝国
項目			
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の大きな流れを理解させるために、各時代学習の冒頭にその時代の一場面を2ページ大のイラストで表現した「タイムトラベル」が設けられている。 ○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために、巻頭部に「日本各地の伝統行事と祭り」、身近な地域の歴史の探究事例として「七夕まつり」が掲載されている。 ○多文化共生の重要性を学び国際協調の精神を育てるために、国家や地域の枠組みを超えて活動した人々の姿が「交流」、「平和」のコラムで紹介されている。 ○一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てるために、政治史・経済史・文化史の側面から捉える本文、地域史の視点から捉える「歴史を探ろう」が設けられている。 		
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1単位時間とし、導入資料、「学習課題」、本文、「確認しよう」「説明しよう」で構成され、時代の特色をとらえる学習に配慮している。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「技能をみがく」、学習した知識・概念を確認する「学習をふりかえろう」が設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き右下欄外に「説明しよう」という課題が設定されている。この課題に取り組み、自分の言葉でまとめ、表現することで思考力等の育成が図れるようになっている。 ○各時代の導入部に「タイムトラベル」というページが設定されている。このイラストから疑問やイメージを膨らませることで思考力等の育成が図れるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容を広げたり深めたりする、特集「歴史を探ろう」では、生徒の興味・関心に応じて、学習が進められるようになっている。 ○章の始めに「タイムトラベル」として、生徒が自ら時代の特色について考えられる工夫がされている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国宝、世界遺産にマークが付けられている。 ○コラムで古事記や日本書紀の神話を紹介する中で、他国の神話との共通点なども示されている。 ○領土をめぐる問題については、北方領土・竹島・尖閣諸島の歴史的背景や関連する条約や資料を見開き資料で紹介している。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入に「タイムトラベル」を設け、見開きのイラストを通して前の時代との比較や疑問点の発見をさせ、これから学習する時代はどのような時代であるかをとらえられるようになっている。 ○各時代の文化を学習したあとに、その時代を改めて振り返る「時代をふりかえって」が設けられ、当時の政治や経済状況と文化の関係などが考えられるようになっている。 ○各時代のまとめとして、「学習をふりかえろう」で、年表や地図、資料をもとに時代の特色を整理するとともに、時代の特色を自分の言葉で説明する学習が設けられている。 		
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習の動機付けや探求の中心となる資料と地理的な知識を深めるための地図が大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織の仕組み等が掲載されている。「資料活用」の表記があり、資料を読み解くヒントや視点が示されている。 		
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各項目の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されており、項目ごとに「学習課題」と「確認しよう」「説明しよう」が示されている。 ○各項目の右ページ端に学習している時代が示され、人物索引には分野ごとにマークが付けられている。 ○本文は敬体で、関連する事項には参照ページが示され、資料には、見開きごとのまとめで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号がつけられている。 		
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判を採用している。 ○「羅針盤」マークのコラムは、「自然」、「人権」、「交流」、「平和」の4テーマからなり、それぞれの資料から未来の社会をつくるために必要な知識を学び、新しい社会に合わせたしくみやモデルを創り上げていけるように構成されている。 		

書名		116 日 文
項目	中学社会 歴史的分野	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の大きな流れを理解させるために、各時代の前半部に「時代の転換のようす」を捉える学習活動が、まとめの部分に「時代の特色」を捉える学習活動が設けられている。 ○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために、生活の向上や文化の発展に取り組んだ人物を取り上げる「先人に学ぶ」が設けられている。 ○多文化共生の重要性を学び国際協調の精神を育てるために、各時代の文化の特色を我が国と諸外国の歴史や文化が相互にかかわっていることが記述されている。 ○一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てるために、「学習の活用」のページの中で、様々な着目点から時代の特色に迫る学習活動が設けられている。 	
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1単位時間とし、導入資料、「学習課題」、本文、「学習の確認と活用」で構成されている。学習内容の理解を図るため、基本用語や言語活動コーナーを設けている。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「スキルUP」、学習した知識・概念を確認する「とらえよう！時代の特色」が設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の前半に「とらえよう！時代の転換」、終わりに「とらえよう！時代の特色」を設定し、自分の言葉で表現することで思考力等の育成を図れるようにしている。 ○見開き右下欄外に「学習の活用」という課題が設定されている。この課題に取り組み、自分の言葉でまとめ、表現することで思考力等の育成を図れるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習の確認と活用」では、見開きの学習内容の理解を図る活動や、自分の考えを説明する課題が設けられている。 ○「でかけよう地域調べ」や「歴史を掘り下げる」「先人に学ぶ」のコーナーが設けられ、身近な地域や現代の日本に関する興味・関心を高める工夫がされている。 	
色	<p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国宝、世界遺産にマークが付けられている。 ○「古代史プラスα」というコラムで古事記、日本書紀などの神話が紹介され他国の神話と共通点があることも示されている。 ○領土をめぐる問題については、本文と韓国と中国との国交についてのコラムの一部で紹介している。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入として、資料を用いて前の時代と比較することで、今後の学習のねらいをつかませるようになっている。 ○前の時代と比べて、どのような時代に変化したのかを考え説明させる「とらえよう！時代の転換」が設けられている。 ○各時代のまとめとして、「とらえよう！時代の特色」で、年表・地図・資料をもとに各時代を復習し、時代の特色を資料をもとに説明する学習が設けられている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習内容の導入や関心を高めるための写真・資料・地図などが大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織の仕組み等が掲載されている。「読み取ろう」「伝えよう」の表記があり、資料を読み取る視点が示されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各項目の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されており、項目ごとに見通しをもつための「学習課題」と「学習の確認と活用」が示されている。 ○項目ごとに、どの時代を学習しているかをページ左端の年表に色で表し、小学校の学習との関連が示されている。 ○本文は敬体で、用語解説のページや参照ページが示され、資料には、見開きごとのまとめりで通し番号が付けられている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面はA B判を採用している。 ○「歴史を掘り下げる」では今日的な歴史的背景を解説したり、「先人に学ぶ」では生活の向上や文化の発展などに寄与した人物を取り上げたりして、歴史に学び、自分たちの生き方に生かしていく態度を育てられるようにしている。 	

社会科（歴史的分野）調査資料 1 - 6

書名		225 自由社
項目	新版 新しい歴史教科書	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の大きな流れを理解させるために、序章の「歴史のとらえ方」で人物や地域に焦点を当てた歴史の学習方法が提示されている。 ○我が国の伝統や文化の特色を広い視野に立って考えさせるために7世紀の古代律令国家と19世紀後半の明治国家に重点が置かれ、コラム「もっと知りたい」等で多くの人物が紹介されている。 ○多文化共生の重要性を学び国際協調の精神を育てるために、諸外国から見た日本の姿を記述したコラム「外の目から見た日本」が設けられている。 ○一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てるために、時代や人物を比較する課題が各時代のまとめに設けられている。 	
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「まとめにチャレンジ」で構成されている。学習内容の理解を図るため序章に歴史の学び方や調べ方が掲載されている。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「100字用語解説」、学習した知識・概念を確認する「〇〇とはどんな時代か」を設けている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き右下欄外に「まとめにチャレンジ」という課題が設定されている。学習内容を要約・表現する活動に取り組むことで思考力等の育成が図れるようになっている。 ○各単元末の「〇〇とはどんな時代か」では、時代比較・人物比較・「ひとこと」作文・意見交換会を、自分の言葉でまとめ、表現する課題が設定されている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○コラム「もっと知りたい」「人物クローズアップ」などを設け、生徒の興味・関心に応じて、学習が進められるようになっている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国宝、重要文化財にマークが付けられている。 ○古事記、日本書紀の神話は1単元として扱われており、国の始まりと関連付けた見開き資料でも紹介されている。 ○領土をめぐる問題については、本文で紹介されている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入として、複数の資料を紹介し登場人物が関連する疑問を示す事で、これから学習する時代がどのような時代かイメージさせるようになっている。 ○各時代のまとめとして、「〇〇とはどんな時代か」を設け、時代比較や人物比較、また「ひとこと」作文など自分の言葉でまとめる記述形式の学習が設けられている。 ○各時代のまとめとして、各時代のおもな人物やできごとの「100字用語解説」という一覧表が掲載されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習内容の導入や関心を高めるための写真・資料・地図などが大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織の仕組み等が掲載されている。各章の始めには写真資料が示され、読み取りの視点を考えさせる課題が示されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各項目の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されており、項目ごとに見通しをもつための学習課題とまとめが示されている。 ○項目ごとに、どの時代を学習しているかをページ左端の年表に色で表し、小学校の学習との関連が示されている。 ○本文は常体で、参照ページが示され、資料には国宝、重要文化財を示すマークが示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、B判を採用している。 ○コラムにおいては、特に規範意識、公正な判断力、公共の精神にかかわる教材の選択を重視し、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことに配慮している。 	

書名		[新編]新しい日本の歴史	227 育鵬社
項目			
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の大きな流れを理解させるために、各章冒頭に各時代の歴史の大きな流れをつかむための「歴史絵巻」が設けられている。 ○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために、歴史を築いた人物の生き方を「人物クローズアップ」等で紹介するとともに、世界と日本の文化遺産が掲載されている。 ○多文化共生の重要性を学び国際協調の精神を育てるために、各時代を象徴する船を取り上げ海洋国家・日本の歩みが外国とのかかわりの中で紹介されている。 ○一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てるために、本文を多角的な視点から解説した「歴史ビュー」、歴史場面を切り取った「歴史の名場面」などが掲載されている。 		
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成されている。学習内容の理解を図るため、本文の理解を深める視覚・補助教材が掲載されている。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「課題学習」、学習した知識・概念を確認する「学習のまとめ」が設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題学習として「歴史学習Q&Aカードをつくろう」「歴史新聞をつくろう」の活動が設けられ、自分の考えを言葉で表現することで表現力の育成を図っている。 ○章末に、各時代の特色をまとめる課題が設定されている。この課題に取り組み、自分の言葉でまとめ、表現することで思考力等の育成が図れるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「歴史の名場面」や「人物クローズアップ」等の読み物資料や「課題学習」が設けられ、生徒の興味・関心に応じて学習進められるようになっている。 ○巻末の「調べ学習に」では、インターネットの利用の仕方や、各ホームページがまとめて掲載されていて、生徒が主体的に学べる工夫がされている。 		
色	<p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国宝、世界遺産にマークが付けられている。 ○古事記や日本書紀に記された神話を見開き資料で紹介し、現代に残る地名や文化との関連を示している。 ○領土をめぐる問題については、本文とコラムの一部で紹介されている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入として「歴史モノサシ」で学習する時代の範囲を確認し、「歴史絵巻」でその時代の代表的な出来事をイラストで示し、時代の大きな流れをつかませるようになっている。 ○各時代の導入として、「○○の世界へようこそ！」で、資料を通して時代の特徴や他の時代との違いを考えさせるようになっている。 ○各時代のまとめとして、「学習のまとめ」で、年表や地図で確認したり自分の言葉で表現する活動を通して、その時代の特色をとらえる学習が設けられている。 		
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習内容の導入や関心を高めるための図版・文献資料・地図などが大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織の仕組み等が掲載されている。中心資料には時代の特色を読み取るための視点が示されている。 		
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各項目の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されており、項目ごとに見通しをもつための学習課題とまとめの課題が示されている。 ○章ごとに学習範囲を色で表した年表が掲載されている。 ○本文は敬体で、参照ページが示され、資料に項目ごとに通し番号が付されている。 		
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判を採用している。 ○「人物クローズアップ」では、「献身」、「公共」、「勇気」、「勤勉」などの美徳を体現した人物や、国家や人生の岐路において道を切り拓いた人物を紹介し、自分たちの生き方に生かしていく態度を育てられるようにしている。 		